

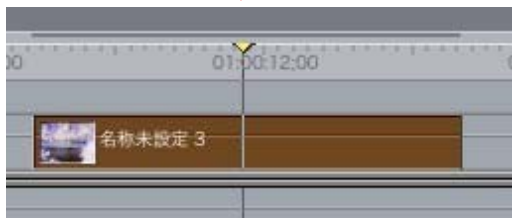
# FxScript Trial

## Mask on Mosaic

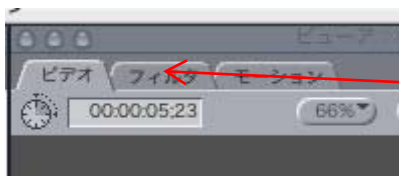
- ・ フィルターの設定
- ・ Mask on Mosaic の機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

# Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。  
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

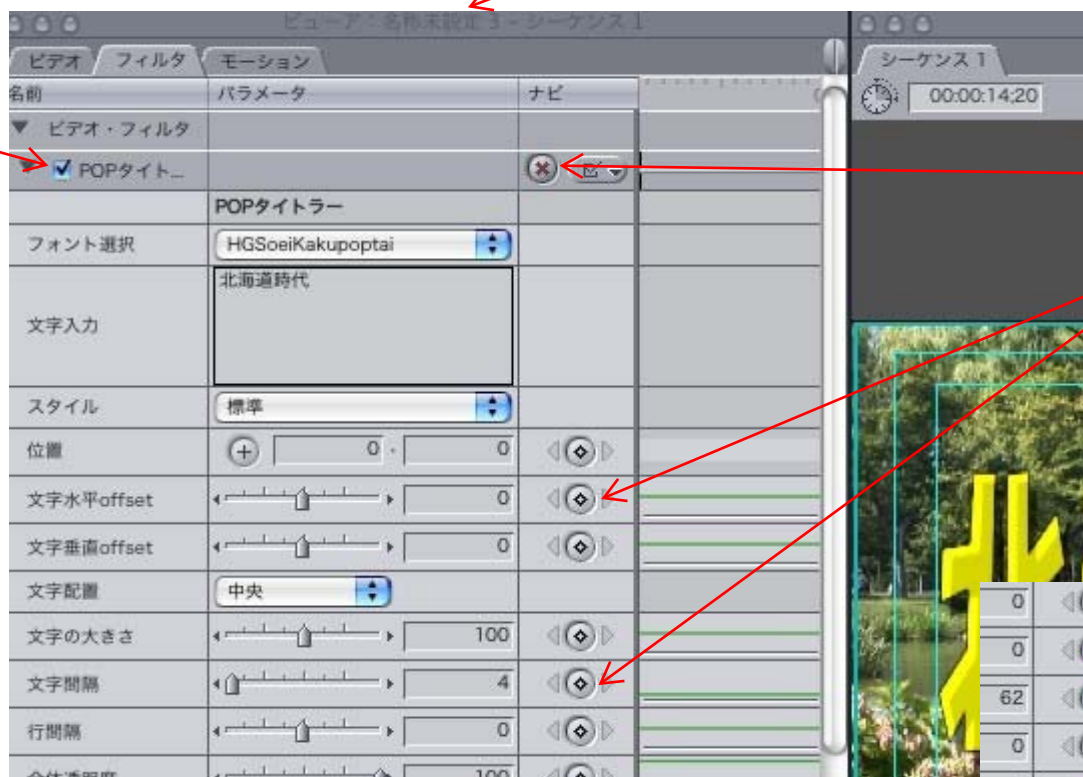


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



## ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

# Mask on Mosaic

ここではフィルター設定がなされた後のプラグインの機能を説明します。  
設定についてはフィルター設定を参照してください。

ここをオフと効果がカットされます

モザイクとソフト・フォーカスの切り替えです。効果度のスライダーは両方兼任しています。

マスクチェックは効果のかかっている範囲を示します。反転は効果が逆になります。

位置は画面の縦横の位置を設定します。

付属のマスクをつまんで入れて下さい  
マスクを入れないと合成出力されません

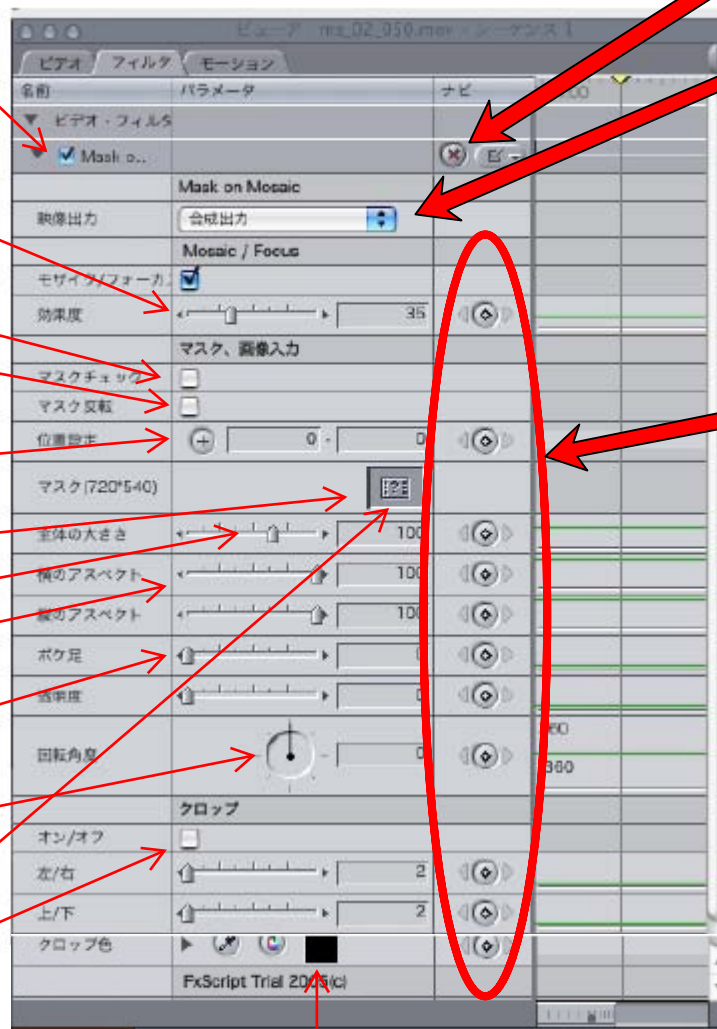
マスクの全体の大きさ  
縦、横の大きさが調整できます。

ボケ足はマスクの境界線をボカします。

回転角度は丸の場合関係ありませんが  
縦や横の大きさを変えさらに角度を調整するときに使います。

上下左右のクロップは普段使いませんが  
画面を色でマスクします。

マスク素材を作るときは  
720\*540 (DV)か720\*547 (非圧縮)の  
ピクセルで作ってください。この場合  
黒地に白の素材が無難です。



クロップ色の設定もできます。

デモ映像とご注文はこちらをクリック

ナビのオール・クリアー

映像出力選択

- ・マスク合成出力
- ・マスク・チェック出力
- ・全面モザイク の3つです。

ナビの個別設定

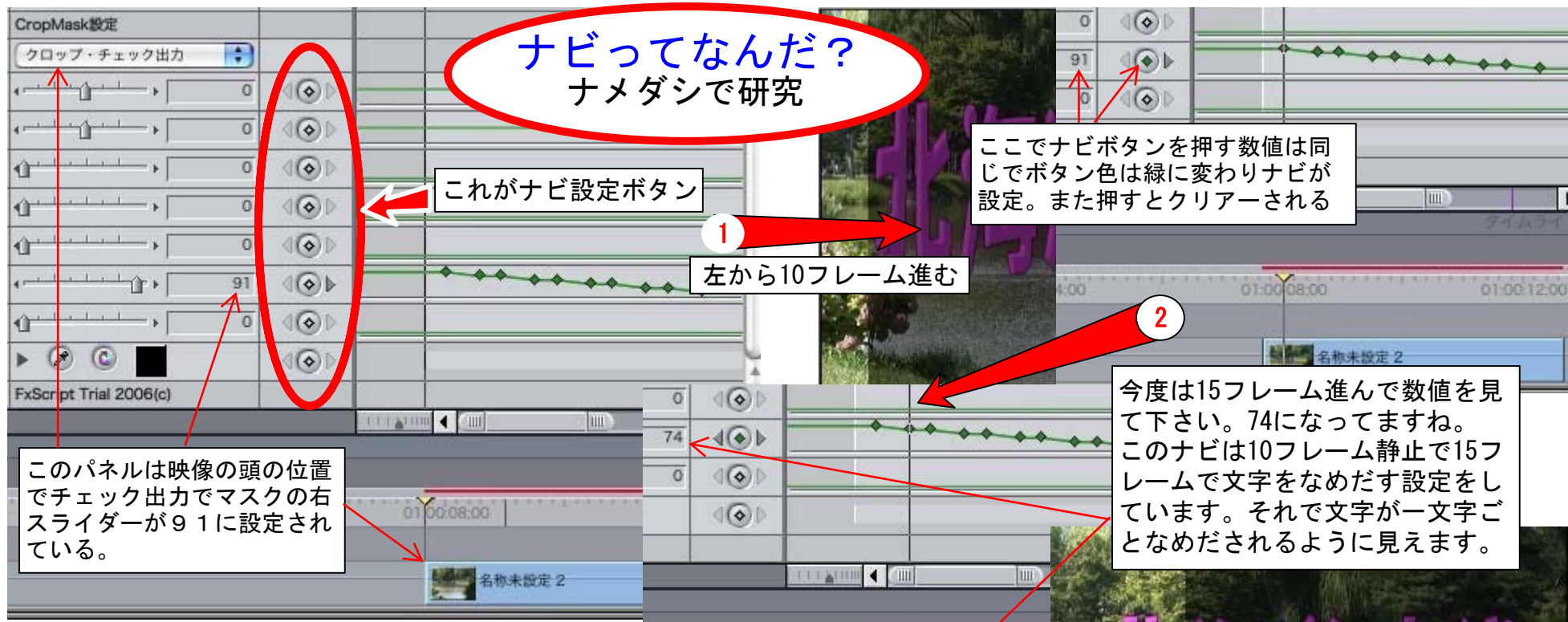
ナビ機能の解説を参考にしてください。

モザイクの場合ヒントとして  
あまり細かく分割をしないで  
大まかな動きで設定し問題箇所  
にあとからナビを追加していくのが  
結果的に時間を早めるコツです。

ただしCPUにある程度の速さが  
ないとこの技は厳しいですが

ナビを使いこなせないと効果を生かせません。

FxScript Trial



ナビってなんだ？  
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1  
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

デモ映像を見る  
クリック



**ナビゲーションの説明**

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。